

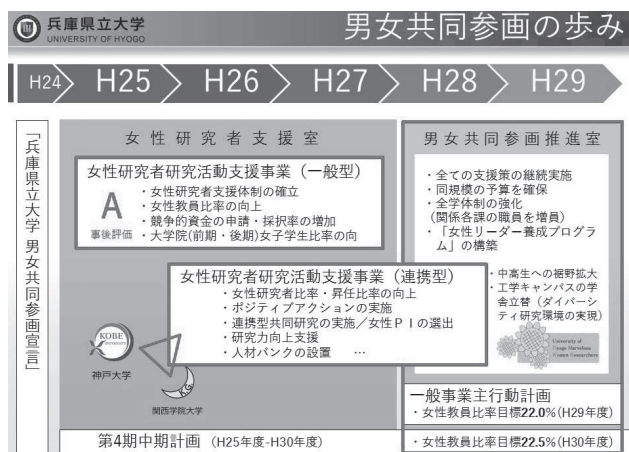
兵庫県立大学の男女共同参画の取組

——共生のための環境整備——

山口真紀（兵庫県立大学本部事務局特任助教／男女共同参画推進室コーディネーター）

男女共同参画の歩み

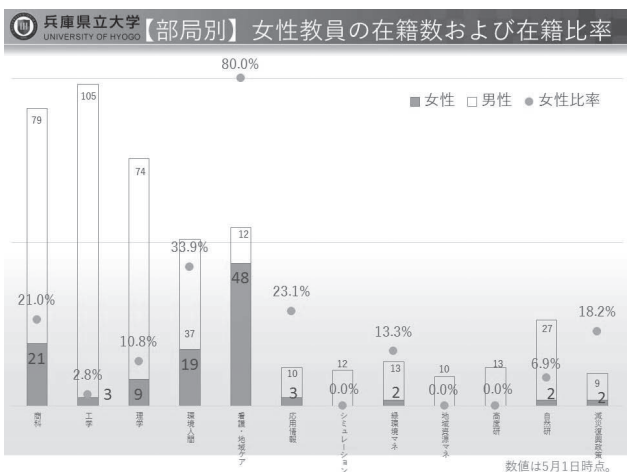
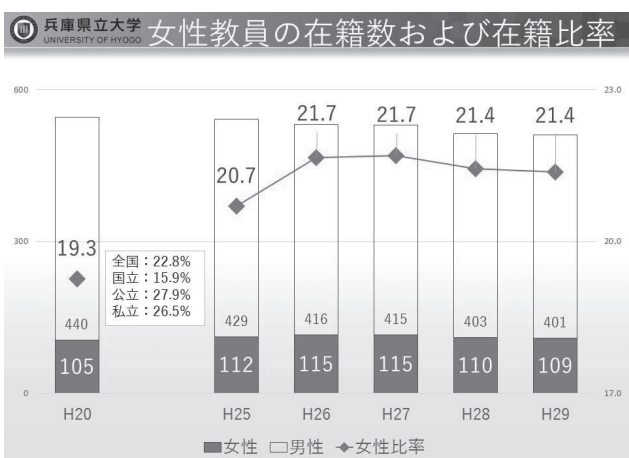
本学は、平成 24 年に男女共同参画宣言を公布し平成 25 年に文部科学省科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業・一般型」に採択されたことから、具体的な取組を開始しました。また平成 26 年度からは、神戸大学を代表基幹校として、関西学院大学とともに連携型事業を実施してきました。平成 28 年度からは、「女性研究者支援」から「男女共同参画推進」と名を改めて再発進し、全ての支援策の継続実施とともに、比率目標の達成に向けて、取組を進めています。



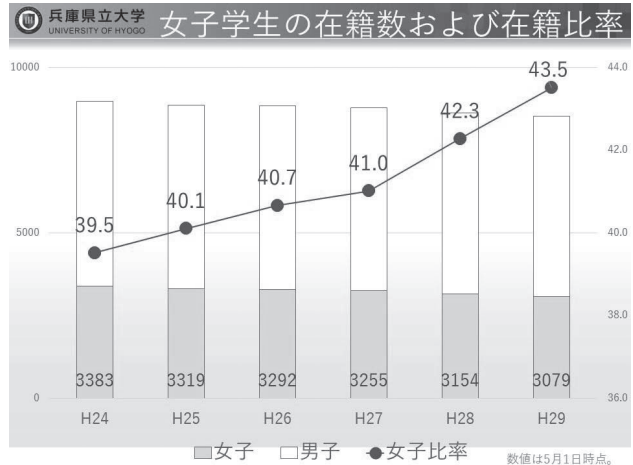
兵庫県立大学の女性比率

本学の女性教員の在籍数および在籍比率は、今年度は21.4%であり、全国平均を下回っています。ただし、俯瞰して見ますと、平成 20 年度の 19.3% から比べて直近の 5 年間は比率を上昇させ、この水準を維持しています。積極的な数字ではないように見えるかもしれませんが、全体の教員数を年々減少せざるを得ないなかにおいて、女性教員の在籍数を維持しています。

また部局別にみると、分野による比率の差は大きく、看護学部が 80.0%、文理融合型である環境人間で 33.9%、経済・経営が 21.0%であるのに対して、自然科学系は軒並み低く、工学部では 2.8%留まっています。専攻におけるジェンダー分離 (gender segregation) は、世界的にも課題となっており、STEM 教育の実施、(Science, Technology, Engineering and Mathematics)、すなわち科学・技術・工学・数学への女子学生の参入が促進されています。



そこで、本学的女子学生の在籍数および在籍比率の推移を見てみると、過去5年間という比較的短い期間に右肩上がりに伸びていることがお分かりいただけると思います。やはり全体の学生数が縮小する中で女子学生の比率を維持しているというのが現状ですが、実は最も女子学生比率の低い工学部的女子学生が、5年前から100名ほど増えています。本学の裾野拡大の取組の成果が実を結びつつあると、実感を得ているところです。



具体的な取組

本学における男女共生のための取組は、主に次の5つです。①男女共同参画推進のための体制構築、②ポジティブ・アクション、③WLBのための環境整備、④教育・研究活動支援、⑤裾野拡大、次世代教育。下記に、概要をご報告します。

①について本学では、キャンパスが広域に点在するという地理的条件から、全学に届く体制の整備が最も大きな課題でした。そこで、大学本部に男女共同参画推進委員会および男女共同参画推進室を設け、これを中心として、全9キャンパスに分室を設置しました。トップダウンを可能にする縦の体制に加え、キャンパス間を連携する横の体制を構築し、全学的かつひとりひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援を可能としています。

②男女比率を均等にするための積極的な措置、ポジティブ・アクションについて、本学では、女性枠の設置を実現させ、女性限定公募、女性のPI（共同研究責任者）の選出、女子学生特別推薦入試を実施しています。加えて、意思決定過程における女性の参画を促進しています。特に教授職への登用は毎年着実に進んでおり、全昇任者に対する女性の割合も向上しています。また、大学執行部への女性登用を通して、女性の意思を大学運営に反映し、さらなるポジティブ・アクションを実現する体制が整いつつあります。

③ワークライフバランスのための環境整備の取組では、特に、出産・育児・介護等のライフイベント中の教員への研究補助を行う「研究活動支援システム」を運用し、これまでに延べ67名の教員を支援してきました。また、保育利用料の一部補助を行う「保育支援システム」の運用、各キャンパス構成員のニーズに応じたWLBセミナー、個別相談会を実施しています。

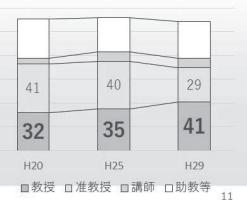
ポジティブ・アクションの実行

女性枠の設置

- 女性限定公募 4 件(工学研究科)
- 女性PI（共同研究責任者）の選出 5 名(H26-H29)
- 女子学生特別推薦の新設 15 名(工学部)

意思決定過程における女性の参画

- 上位職階（教授）への登用
- 全昇任者に対する女性割合の向上
H26：8.3% → H29：27.8%
- 女性副学長の誕生
- 大学執行部における女性比率の向上
H26：0.0% → H29：22.2%



WLBのための環境整備

ライフイベント中の教員への研究補助

- 研究活動支援システム(研究支援員の配置)
→利用者：延べ67名 研究支援員：延べ117名

子育て支援

- 保育支援システム(利用料の補助) →利用者：延べ34名、病児：38日
- 子育て支援ハンドブックの発行(情報提供)

WLBセミナー

- 仕事と介護の両立セミナー
- メンタルヘルスケア・セミナー
- イクボス・イクメンセミナー

個別相談


- 教職員のための個別相談会



④教育・研究活動支援の取組としては、H26年度からH28年度まで、神戸大学・関西学院大学とともに「連携型共同研究」を実施してきました。大学を越えて組織化された研究グループに助成を行い、女性P Iにはプロモーションメンターと研究メンターを配置しました。他にも、教育活動支援として、授業の資料づくりに活用できるスキルの提供、国際的な研究発信力を支援するための英語力向上支援、研究資金を得るための外部資金獲得支援を行っています。

兵庫県立大学 UNIVERSITY OF HYOGO 教育・研究活動支援


- 女性P I (Principal Investigator) の育成 (H26-H28)
 - ・ 連携型共同研究 (神戸大学・関西学院大学との合同実施) [連携型事業]
 - 女性P I : 22名 (うち本学5名)
- 教育活動支援
 - ・ ビジュアルデザインとプレゼンのスキルアップセミナー
 - ・ ティーチングスキルアップ冊子の発行 [連携型事業]
- 英語力向上支援
 - ・ 英語スキルアップセミナー (個別指導)
 - ・ 英語論文書き方セミナー
- 外部資金獲得支援
 - ・ 外部資金獲得セミナー (個別相談含む)



⑤本学は裾野拡大・次世代育成の取り組みを積極的に行っています。工学部の女子学生特別推薦入試は全国でもまだ実施数の少ないです。女子大学生へのキャリアパス相談や、女子高校生への理系進学案内など、ひとりひとりの学生に働きかけています。こうした取組を促進してきた背景には、女子学生の大学院進学率が、男子学生に比べて低いことに対する問題意識があります。内閣府の調べでは、「女性研究者が少ない理由」として、「ロールモデルが少ない」という項目が依然として高い数値で挙げられています。そこで本学では、本学所属の女性研究者をロールモデルとして、研究活動取材した動画を作成し、テレビやHPで配信しています。文字や写真だけでは伝わりきれない生き生きとした女性研究者の魅力を、高校生や大学生だけでなく、広く、県民や市民のみなさんにも届けています。

兵庫県立大学 UNIVERSITY OF HYOGO 裾野拡大・次世代育成

- 女子大学生へのキャリアパス支援
 - ・ キャリアパス相談(OG訪問・企業工場見学)
 - ・ 学長特別補佐によるキャリアパス相談
 - ・ キャリアカフェ (大学院案内)
- 女子高校生への理系進学案内
 - ・ 工学ガールのためのサマーcafé
 - ・ ひらめき☆ときめきサイエンス
 - ・ サイエンス・オープンラボ
 - ・ 高校出前講座/Rikejoを囲む会
 - ・ 高大連携シンポジウム
 - ・ 男女共同参画シンポジウム
「♀に広がるリケジョの未来」
「女性研究者の魅力発信ーリケジョのススメ！」



共生のための環境整備

研究者の世界は実力主義・個人主義であり、性差による不均衡はなく、男女共同参画とは関係がないと思われるかもしれません。しかし研究者も、研究以外の世界では組織に属する労働者であり、育児や介護などのライフイベントを迎えうる生活者です。男女共同参画社会基本法には、男女が個人として尊重され、性別による差別的取扱いを受けないことを通して、「男女が個人として能力を発揮する機会が確保されること」が掲げられています(第一章第三条)。意思決定過程に女性が参画すること、構成員の比率が均衡へと向かうこと、女性だけでなく男性に対しても保育や介護のための支援を行うことは、研究者の社会成員としての側面、すなわち労働・生活環境を整え、支えることなのです。本学は、研究者が、それぞれの能力を最大限に生かして研究を発展させていくためにこそ、男女共同参画の視点は不可欠であると考えています。

兵庫県立大学 UNIVERSITY OF HYOGO

兵庫県立大学男女共同参画宣言

兵庫県立大学は、平成16年4月に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学を統合し、県内各地にキャンパスを有する総合大学として開学した。本学は、兵庫の総合的な地の拠点として、学術的な新知見を国内外に発信し、地域の活性化と我が国の発展に寄与していくことを使命としている。

私たちが住む地球を覆っている大空は女性男性が共に支えている。本学は男女が自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、共に責任を分かち合う男女共同参画社会の早期実現を目指す兵庫県が設置する県立大学として、男女共同参画社会の形成に寄与するよう努めていくものである。

そのため、本学は、構成員一人ひとりが個人としての尊厳を確立し、男女を問わず能力を十分に発揮できる環境を整備するとともに、男女共同参画社会の形成について理解し、寄与する人材を育成できるよう、男女共同参画を積極的に推進することを宣言する。

